

コース3 おおみねやま 大峰山

リーダー CL Y.M
 実施日 令和6年4月7日(日)
 天候 晴れ
 グレード A上~B
 参加者 6人(男性2人 女性4人)

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
金塚駅	8:30	8:55	ホームにて体操の後、出発。
貝屋集落一の沢林道分岐	9:25	9:30	小休息、衣服調整。
一ノ沢登山口	10:10	10:10	林道から登山道へ。赤テープの目印見落とし注意。
桜公園登山口分岐	10:35	10:45	小休息、水分補給。
一本松展望台	11:05	11:15	椽平サクラ樹林を眺め一服。空気がおいしい。
チェリーヒュッテ	11:35	11:40	ヒュッテの中を見学、堅牢な作りに関心する。
大峰山山頂	11:50	12:35	残雪の飯豊山をバックにゆっくり昼食。
願文山	13:15	13:30	急峻な空堀の下りに四苦八苦、膝が笑う。
桜公園	14:10	14:40	満開の大漁桜(桜の品種名)に感激。
金塚駅	15:10	15:39	近くのコンビニにて甘味補給の後、車中の人に。

山行等概要(幹事のコメント)

- 4月6日の一斉ハイクの翌日の大峰山お花見登山。いかにお花見登山とは言え、どうにも日が悪し。総会資料をいただき、登山計画一覧表のページを開き「ありゃー、こりゃあダメだ！」参加者いないだろうと、はやあきらめモード。でしたが、優しい新津ハイキングクラブの皆様から同情?の参加申し込みをいただき、無事行って来る事ができました。同行いただきました皆様には感謝感謝の一念です。
- 昨年は3月末にはソメイヨシノも花吹雪でしたので、今年はどうかなとの日程設定でした。今年の2月は比較的暖かい日が続きましたが、3月は雪の日も多く桜の開花も遅れぎみ。
- 満開の桜には少し早く残念でしたが、当日は無風快晴の登山日和。こんな日があってもいいの?と驚くほどの陽気で春を満喫できました。
- 日にちも、日曜日設定なので電車の中は空いており、おしゃべり三昧。楽しい一日を過ごさせていただきました。ありがとうございました。
- ヒヤリハット
大峰山からの下りに起こった事です。参加者1名、木の根につまずいて転倒。怪我無くそのまま下山続行。



考えられる要因

- ① 疲れてきたことから注意散漫、足が上がらず木の根につまずく。
- ② 登ってくる登山者とのすれ違いの際に起きた出来事。相手方が立ち止まり道を譲ってくれたことより、「待たせては悪い」との意識が働き、足よりも気持ちが焦ってつまずいてしまった。

下山時は重力に助けられ、歩く速度がつつい早くなりがちですが、全体の力量をみながらゆっくり確実に声掛けしながら歩く必要があると再認識致しました。

「新緑の大峰山に登る」

1812 K.K

4月7日の朝から快晴 18度、雲一つない絶好の登山日和。
新津駅から春の車窓を眺めながら、金塚駅までベテラン4名、新人(?)2名、計6名で399.5mの大峰山を目指して元気に出発！

無人の金塚駅で体操とリーダーから登山計画

1. 日本で一番小さい「櫛形山脈」の一峰
2. 国の天然記念物に指定されている「椽平さくら樹林」のお花見登山を聞いて、のどかな景色を見ながら登山口まで1時間近く歩きました。

緩やかな上りで、キクザキイチゲ・タチツボスミレ・ハコベ・カタクリ・ショウジョウバカマがあちこちに咲き、野鳥のさえずりも心を和ませてくれます

雑学博士のリーダーが、キブシの実を煮出した黒い液が平安時代のお歯黒の原料になったことや、クロモジの名前の由来等素晴らしいお話をしてくれました

山頂から飯豊連峰が見え、その雪山と青空が絵はがきを見ているような美しい景色でした。いつか登ってみたいと思いました

下山は急勾配の箇所がいくつかありスリル満点！やぶつばきの花が両脇に咲き誇る椿ロードがずっと続き、登りとは違う風景を楽しめました。



桜公園では、多くの種類がまだ蕾でしたが、大漁桜と小彼岸桜などが見頃で、ちょうど水芭蕉もきれいに咲いているのが見られラッキーでした。

前日の一斉登山に参加され、今日も参加された方本当にお疲れ様でした。

日頃から鍛えている姿を見習いたいと思いました。

山・花の楽しいお話をしてくれたリーダーさん
後方から女子を見守り続けてくれたKさん
ムードメーカー楽しいお話をしてくれたSさん
いつも笑顔で場を和ませてくれるYさん
明るくエネルギッシュなAさん

みなさん本当に楽しい登山でした。余談ですが約2万歩歩きました。すごーい！！
ありがとうございました(*^o^*)

